

# 地区別の人口減少対策は

馬淵 紀明議員

国や市全体に係る総体的な課題である  
企画政策部長



10年ごとの地区別人口の将来推計(人)

	2020年	2030年	2040年
佐屋地区	28,524	26,368	23,976
立田地区	7,204	6,460	5,648
八開地区	4,519	4,104	3,669
佐織地区	21,962	20,138	18,153

▲地区別の人口推移の推計結果

**問** 人口減少による問題は。点は。

**答** 社会保障費の増大と市民の税等負担の増加が見込まれる。また、市民の利便性が低下するほか、保健、医療、福祉などさまざまな分野での影響が懸念される。

**問** 地区別の人口減少対策は。

**答** 人口減少は、国や市全体に係る総体的な課題である。

**問** 拡散型まちづくりではなく、コンパクトなまちづくりについて、市の見解は。

**答** 集約型のまちづくりについては、中長期的な視点に立って検討が必要であると考えている。

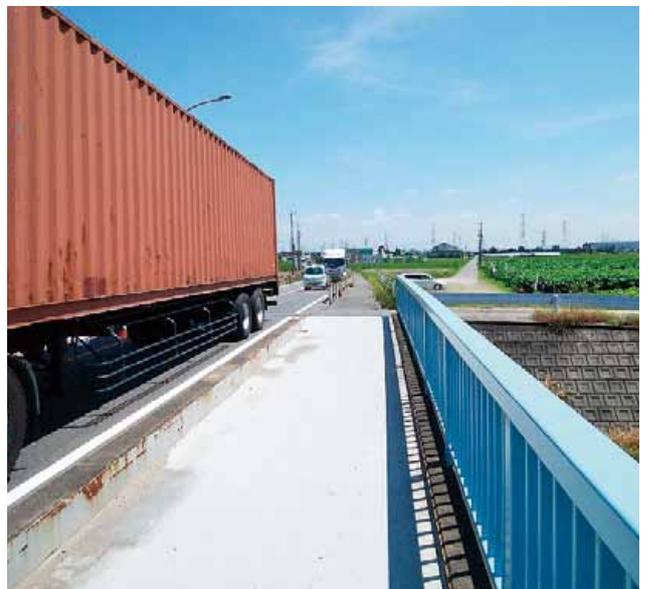
## 道の駅周辺の安全対策は

**問** 県道を通って、「蓮見の会」会場入りは危険だ。仮に歩行者用の橋を架けた場合の利点は。

**答** 歩行動線として、安全面も含めスムーズな利用者動線を創出できる。

**問** 事故が起きないように、新たな橋の整備を考えていく余地はある。市の考えは。

**答** 道の駅周辺整備の中で、移動動線の安全面の検証をするともに、利便性に配慮した施設整備に向け、基本計画の策定を進めていきたい。



▲危険を感じている県道の橋(道の駅東)